

日本讚歌

丘

灯臺夫

(一) 北に 毬藻の湖や 南火を吐く 阿蘇の山

姿些細の島なれど

ああ日本この美しさわれら 讚えん

敷島の 大和心を 人間わば

朝日に 匂う 山桜花

(二) 心の奥に 飾る花 月を愛して 酒うまし

父の国なり 母の国

ああ日本この逞しさわれら 守らん

この喜びを この幸せをわれら 伝えん